

ワークショップ構成及びタイムスケジュール

時間	セッションの内容		
13:30~14:45 話題提供 50分 / 討議 25分 計 75分	<p>○開会：開会挨拶（環境省 上杉環境影響評価課長） （福岡大学・大会実行委員長 浅野先生）</p> <p>○セッション1：検討の背景紹介</p> <p>以下の事項に関し話題提供した上で、幅広い技術手法や技術手法のあり方についての意見交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アセス法改正内容の概要 ●環境影響評価法に基づく基本的事項改正の概要 ●全体課題の整理 <ul style="list-style-type: none"> ・複数案の設定の考え方 ・重大な環境影響とは ・影響評価の範囲 等 ●環境省検討会での検討状況について 		
5 分間程度	休憩		
14:50~16:05 話題提供 30分 / 討議 45分 計 75分	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>○セッション2A：健康・生活環境系の技術手法</p> <p>「環境の自然的構成要素の良好な状態の保持」及び「環境への負荷」に区分される項目について、以下の事項について話題提供した上で、幅広い技術手法や技術手法のあり方についての意見交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個別課題と環境省検討会での検討状況について ●パネリストよりコメント一巡後、討議 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>○セッション2B：自然環境系の技術手法</p> <p>「生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全」及び「人と自然との豊かな触れ合い」に区分される項目について、以下の事項について話題提供した上で、幅広い技術手法や技術手法のあり方についての意見交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個別課題と環境省検討会での検討状況について ●パネリストよりコメント一巡後、討議 </td> </tr> </table>	<p>○セッション2A：健康・生活環境系の技術手法</p> <p>「環境の自然的構成要素の良好な状態の保持」及び「環境への負荷」に区分される項目について、以下の事項について話題提供した上で、幅広い技術手法や技術手法のあり方についての意見交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個別課題と環境省検討会での検討状況について ●パネリストよりコメント一巡後、討議 	<p>○セッション2B：自然環境系の技術手法</p> <p>「生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全」及び「人と自然との豊かな触れ合い」に区分される項目について、以下の事項について話題提供した上で、幅広い技術手法や技術手法のあり方についての意見交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個別課題と環境省検討会での検討状況について ●パネリストよりコメント一巡後、討議
<p>○セッション2A：健康・生活環境系の技術手法</p> <p>「環境の自然的構成要素の良好な状態の保持」及び「環境への負荷」に区分される項目について、以下の事項について話題提供した上で、幅広い技術手法や技術手法のあり方についての意見交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個別課題と環境省検討会での検討状況について ●パネリストよりコメント一巡後、討議 	<p>○セッション2B：自然環境系の技術手法</p> <p>「生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全」及び「人と自然との豊かな触れ合い」に区分される項目について、以下の事項について話題提供した上で、幅広い技術手法や技術手法のあり方についての意見交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個別課題と環境省検討会での検討状況について ●パネリストよりコメント一巡後、討議 		
15 分間程度	休憩		
16:20~17:30 報告 20分 / 討議 50分 計 70分	<p>○セッション3：総括討議</p> <p>各セッションの討議の結果をそれぞれの座長から簡潔に報告・共有した上で、全体を通じた意見交換を実施。</p> <p>座長：法政大学 田中先生</p> <p>登壇者：セッション2A, 2Bのパネリスト。</p> <p>○閉会</p>		